

日本共産党埼玉県議団NEWS

11年6月定例会特集 NO.3

2011年6月29日日本共産党埼玉県議団 048-824-3413

8月採択に向けて、全県で教科

書展示会開催 埼玉県議団、

県立浦和図書館展示場で、教

科書閲覧

中学校・高校の教科用図書採択を8月に控え、全県各地で教科書展示会が開催されました。

党県議団は、6月30日埼玉県立浦和図書館の教科書展示室を訪ね、教科書を閲覧しました。

この3月に「新しい歴史教科書をつくる会」が主導した「自由社」の歴史教科書と、同会から分裂した「日本教育再生機構」が主導した「育鵬社」の歴史教科書が検定に合格しました。



2つの教科書は太平洋戦争を美化する点で共通しています。

我が党は、こうした教科書を検定合格させた政府の責任は重大だと考えます。

歴史教科書を中心に閲覧して・・・

「日本は、米英に宣戦布告し、この戦争は「自存自衛」の戦争であると宣言した」太平洋戦争を当時の政府の言葉通りに無批判に取り上げる点で、自由社と育鵬社の教科書は、共通です。他国への侵略戦争を「自存自衛」とする教科書を学んで「われらはいづれの国家も、自国のことのみ専念して他国を無視してはならないのであって」（日本国憲法前文）とする憲法の理念が身につくのでしょうか？

また、限られた紙面でありながら、2ページにわたって「スサノオノミコト」や「オオクニヌシノミコト」にまつわる神話を大きく取り上げていることも特徴です。歴史的に事実が確認されていない神話を、歴史教科書で大きく取り上げる必要があるのでしょうか？

そのほかの教科書も閲覧しましたが、大きなイラストや年表を工夫して取り入れ、子どもたちにその時代を具体的にイメージさせる努力が感じられました。

各地で開かれている教科書展示会は、今週末までです。もっと長期にわたって県民に閲覧を保障してほしいと、感じました。